

### 2月のイベント

『節分イベント』

2024年2月3日(土)

『バレンタインZOO』

2024年2月10日(土)～12日(月・振替)

『お雛様の展示』

2024年2月21日(水)～4月3日(水)

イベントの詳細についてはホームページをみてね！

HPもチェックしてね！



スザッチ



## 雪が大好きな動物は？



信州須坂は雪が多い市で、動物園では毎年冬に何回も雪かきや雪下ろしなどをおこないます。交通機関でも高速道路が通行止めになったり、電車やバスが遅れたり「雪」がもたらす生活への影響はとても大きいのです。しかし、雪を楽しみにしている動物もいます。

それは「トナカイ」です。生息地は寒い国のフィンランドやノルウェー、アメリカ大陸の北部、カナダといった-30℃になるような環境で大きな群れで生活しています。

トナカイの大きな2本の蹄は地面に着くと広がり、さらに後ろについているもう2本の蹄も使い、雪の上や氷の上を「かんじき」や「スノーシュー」を使うように歩きます。

またトナカイは鼻の周りにも毛が生えていて、雪の中に顔を入れてエサを探します。さらに深い雪の時は角や蹄を使い雪を掘りコケなどを食べます。モコモコした鼻の周り毛のおかげで冷たい雪もへっちゃらなんですね。しかし毛の色は皆さんが想像している「赤い毛」ではなく「白い毛」が生えていますよ。雪の多い日はトナカイの行動を観察しに来てください。



トナカイ担当 小林 哲也



## ハヤブサとノスリを飼育しているわけ



須坂市動物園ではケガをした野生動物の救護事業を長野県から委託されることもあります。たとえば、2羽のハヤブサとノスリは動物園で生まれた動物ではありません。彼らはもともと野生で生活していましたが、ケガをしているところを保護されました。保護された動物は本来なら野生に戻れる状態に回復すれば野生へと戻ります。でも、この3羽は翼のケガの影響で空を飛ぶことができなくなってしまったので、須坂市動物園で飼育を続けています。もともと野生動物ということもあり、動物園生まれの動物のように人間に慣れることはなく、掃除やエサやりで獣舎に入るときは驚かさないように気を付けながら作業しています。

では、ケガをした野生動物を見つけたらすぐに保護したほうがいいのか？というところは一概にそうともいえません。野生動物はペットと違い、自然の中で自分の力で力強く生きています。ケガや病気で命を落したり、時には他の動物に食べられることもあるかもしれませんが、自然の中ではそうして命がつながっています。本来なら自然での出来事には人間は手を出さずに見守ることが大切とも考えられるのです。長野県の救護事業でも保護対象の野生動物は限られています。もしみなさんが生活する中でケガをした野生動物を見つけたときは、まずは地域の野生動物担当課に相談してみてくださいね。

獣医師 笹田和樹



## ペンギン 予想外のお引越し



現在、3歳のペンギン「タラコ（♂）」は自分の巣で暮らして给我ません。そこで、巣を魅力的に感じてもらうために「すのこ」を入れました。すると、別のペンギン夫婦が住み着きました。すでに自分たちの巣があるのに...

どの巣に住むかはペンギン次第、飼育員の思い通りにいかないのは日常です。



ペンギン担当 笹島 優里華



須坂市動物園／臥竜公園管理事務所

TEL026-245-1770 Fax:026-248-1793